

SHIRO TORI 通信

Vo.21

2018 autumn

株式会社 城取建築設計事務所

今月の地元パワーは

デザインは

企業価値を向上させる

重要な経営ツールとなる

「ヒトコトデザイン」さん

城取設計ニュース

オススメ！この一冊

建築ニュース

建築探訪

建築設計の仕事

実録！地元のチカラ この街の企業

cafetias

営業コラム





建築 NEWS

家造りの効率化、「大工」が消える？！

昨今の木造建築の95%以上はプレカット工法だといえます。

プレカット工法とは、木造住宅に用いる木材を事前に工場加工し、現場に搬入する工法のこと。大工が現場で一本ずつ木材を加工していき、在来工法に代わり、コストカットや工期短縮に資するプレカットが急速に普及しています。

プレカットなら現場での作業は部材を組み立てるだけ。大工が現場で木材を逐一加工する必要がなくなることは、裏を返せば墨付け



や刻みといった在来工法の技術を身に付ける必要もなくなります。在来工法の担い手であった大工を取り巻く環境には、大きな変化が起きています。

厳しい状況に置かれている大工ですが、リフォームでは在来工法が得意とする分野で、大量の木造住宅をリフォームするうえで、優秀な大工はたいへん有用な存在となります。

手仕事と機械とのせめぎ合いは、どの業界でも行われてきました。大工が家造りの担い手でい続けられるか、正念場です。



匠を実現しています。日本のな石である大谷石を多用し、平等院鳳凰堂をモチーフにした、鷲が翼を広げたような美しいデザインとともに、機能性も兼ね備えた重厚な建築でした。



アメリカの建築家、フランク・ロイド・ライトが手がけた名建築として知られ、現在NHK連続テレビ小説「まんぷく」の中で、ヒロイン・福子が働く「大阪東洋ホテル」の内部シーンが撮影された「旧帝国ホテル本館」。

旧帝国ホテル中央玄関

建築探訪

城取設計ニュース

2018年を振り返って

月号で発行しているニュースレターですが作成が遅れまして秋号が12月となってしまいました。せつかくです。2018年が城取設計にとつてどんな年だったか簡単に振り返ってみたいと思います。

その他にも設計では、大鹿村「道の駅」・南箕輪村「道の駅」が竣工したことに加え、一年以上工事をしてきた仁愛病院が完成すること、また今年是比较的大きい工場をいくつも手掛けさせていただきました。

今年一番のニュースは来年の新入社員2名が決定したこと。採用した女の子2名は、募集開始してすぐに問合せをしてくれて何度も面接を繰り返し採用させていただきました。その後、会社の暑気払いと一緒にいたりカラオケに行ったりと懇親を深め、また事務所の中も4月からの仕事に備えパソコンや机を購入しレイアウトも大幅に変えさせていただきました！4月から一緒に働くのが今から楽しみです。



写真は仁愛病院

おすすめ

この一冊

「CHANCEへチャンス」

犬飼ターボ (PHP研究所)

あなたはビジネスで成功したいのですか？
それとも人生で成功したいのですか？

今回ご紹介する一冊は、ビジネスの成功と心の幸せを同時に手に入れる「ハッピー&サクセス」(略してハピサク)を人々に伝える成功小説作家、犬飼ターボ氏「CHANCEへチャンス」です。
「あなたはビジネスで成功したいのですか？それとも人生で成功したいのですか？」
これは物語の冒頭で、主人公の運命を変えた質問です。
独立を志し、色々な事業を試みては、失敗を繰り返す泉は、ある日偶然、弓池という成功者と出会う。なぜ自分は今までうまくいかなかったのか？どうすれば成功者の仲間入りができるのか？人生で



犬飼ターボ著
定価・本体1,400円+税
発売日・2005年7月5日
形態:B6判(294ページ)

POINT



特集

施工事例

創業55年を迎えた城取建築設計事務所が手がけた設計作品を紹介します

歴史と文化を後世に残し地域の魅力を発信する拠点と考え、過去から未来へつなぐ施設を作ります。

施工事例

伝統の「大鹿歌舞伎」をモチーフに歴史を感じられる建物

建築概要

- 名称：道の駅「歌舞伎の里大鹿」
- 発注者：大鹿村
- 所在地：長野県下伊那郡大鹿村
- 構造・階数：S造・平屋
- 延床面積：1,047.92 m²

秋葉街道（国道152号線）は、縄文期から海へ出る道、海から塩を信州へ運ぶ道、また、西日本との交流の道として利用されてきた歴史ある街道沿いに道の駅「歌舞伎の里大鹿」が改称しました。

「歌舞伎の里大鹿」は、特産品、農産物、日用品の販売から、大鹿の鹿塩でとれる「山塩」をスूपに使った麺類、「大鹿ジビエ」を味わえるレストランと、特産品の山塩モナカの加工施設の空間構成で成り立っています。

この施設が観光施設としてだけでなく、住民と観光に訪れた方々の交流の場として、住民の皆さんへの食料品や日用品の提供を行い、より良い住民生活が営まれていくことを願ってやみません。

建物の構造は、鉄骨造としレストランと観光案内所・商業施設との間に小渋川に通じる空間を設けエリア分けを明確にしました。この空間にはプロジエクターによる大鹿伝統の「大鹿歌舞伎」が映し出されています。また、玄

関脇には切り絵のコーナーを設け、サインも歌舞伎をモチーフにしたデザインとし、大鹿の文化を広く認知していただけるよう心掛けました。

外観は、歴史ある街道沿を考慮し、和風造で落ち着いた雰囲気となるよう考慮しました。外部の差し掛けはカラマツの集成材等で木造とし、サッシは大鹿産の天然カラマツの集成材との複合建具とし、内部もカラマツの羽目板等で暖かな内外空間を作り出しました。





地元のチカラ

この街の企業

今回ご紹介するのは、伊那市にあるデザイン事務所のヒトコトデザイン。

「ヒトコトを起す為のデザインをつくる」をコンセプトに長野県の南信地域を中心に、デザインを通してブランドディングなどを行なっています。主な仕事内容として、ロゴマークの作成、パンフレット、Webサイト、名刺などデザインで企業などの想いを可視化して、一括で提案をするお仕事をしています。

この他、昨今のスマホ利用者の増加に伴い、SNSマーケティングのお話や初心者向けのカメラ講座などを行い、一般消費者や個人事業者との接点も大事にした精力的な活動をしていらっしゃいます。

また、2018年5月、経済産業省と特許庁により、「デザイン経営」が宣言されました。これからの産業のためには、「デザイン」を戦略の中心とする必要がある、というものです。

これは、ヒトコトデザインが考えてきた事と一致し、ヒトコトデザインも、県内企業のデザインに対する意識を変えることができれば、産業を成長させることができると考え、デザインによる支援を続けて来ました。そしてこれからも、この考え方を広めていきたい。



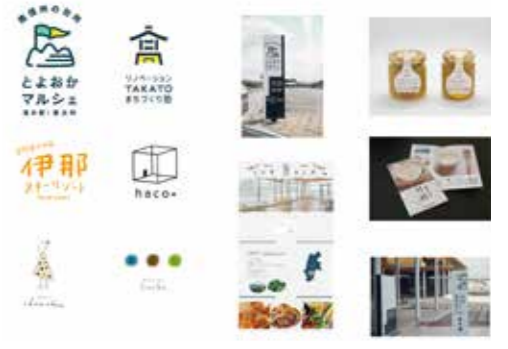
デザインは企業価値を向上させる重要な経営ツールとなる

ヒトコトデザイン (伊那市)

そこでヒトコトデザインは、これまで東京でブランドドマネジメントや組織開発を行ってきた「株式会社「デザイン」」と業務提携し、長野県内の企業に対してのデザインやブランドディングによる支援をさらに拡大していくことにしました。

定期的なセミナーや企業との対話などを通じて、デザインに対する意識改革を進めていく予定です。

東京ではすでに、規模の大小問わず様々な企業がデザインを戦略の軸に置き始めています。「我々地方の活動家も、時代の流れをしつかりと捉え、産業を成長させていく必要があります。」と意気込みを語っていただきました。



クリエイター×子どもの場づくり

2019年には伊那市高遠町でデザイナーなどのクリエイターと子ども、企業と子どもをつなげる「場」づくりを行い、多様な職種・世代間の交流、クリエイターが集まる場所を計画。地方から仕事を発生させる仕組みづくりをしています。



ヒトコトデザイン
伊那市手良野口 1868-1
TEL.090-5429-6584
URL: <http://hitokoto-d.com>

代表の横顔
クリエイティブ
ディレクター
小澤 純一

ties 仁愛病院店 open

12月3日 cafe ties 仁愛病院店がオープンします。デザインそのまま、タイズが1/4サイズになったお店です。患者様スタッフの皆様の憩いの場になれるよう ties として全力で頑張ります。今回はお茶にこだわってみました。ゆず茶、生姜茶、小豆茶、オミジャ茶等、身体にやさしいドリンクを揃えております。もちろんカフェだけで来店する事も可能ですので、ぜひ一度遊びに来てください。



カフェタイズ
伊那市西町 5863-1
www.cafeties.com

営業時間
月～木 11:00～18:00
金 11:00～21:00
土 10:00～21:00
日 10:00～18:00

営業コラム



10月中旬の話ではありますが生まれて初めて神奈川県鎌倉市へ行ってきました！

今回お邪魔したのは、からあげセンターの建設の際にお世話になった工務店社長兼店舗デザイナーのTさんに会いにきました。

鎌倉といえば日本を代表する観光地で神社・お寺・大仏・海岸・江ノ電の他、飲食店も魅力的で個性あるお店が多いことから行く前からワクワクしながら行ってきました！

お寿司はとてもシャリが少ないのが特徴で味は言うまでもなく美味しい。大将も一貫一貫握りながら丁寧に話をしてくれて、新鮮な魚や貝を握ってくれました。すごく良い時間をすごさせてもらいました。

今回印象に残っているのは、連れて行ってくれた古民家を改造した寿司店「和さび」さん。昭和初期の古民家を利用しているように外観は渋くそれでいて街並みにあったちよつと隠れ家的建物。カウンターに座らせていただき、大将の技を目の前で見ながらのお酒は最高でした。



時代の流れと共に、生活環境や価値観も変化し続けています。
 私たちは、今の時代にあった環境づくりと、そのために必要な技術の向上を目指し、
 そして、明るい未来づくりのために、今後も走り続けていきます。

城取設計は城取義直が1963年に創立した会社です。創立当初は「構造設計を持って設計する会社」が少なかったこともあり、全国レベルでの建築設計に取り組んできました。当時としては斬新な構造設計の技術などが買われ、多くの依頼を頂くようになりました。先代である城取義直は技術革新を事業コンセプトに掲げ、情報収集に尽力を費やしていました。職人さんの技術向上のために最先端のスキルや情報を惜しみなく学ばせていました。例えば、塗装の塗り方ひとつにとっても職人さんの技術向上に役立つものであれば、職人さんと一緒に現地見学に行ったりもしました。その積み重ねが確かな自信と経験を生み、会社を成長させる原動力になりました。先代の職人を大事にする気持ちが、今日の城取設計を作ったと言えます。



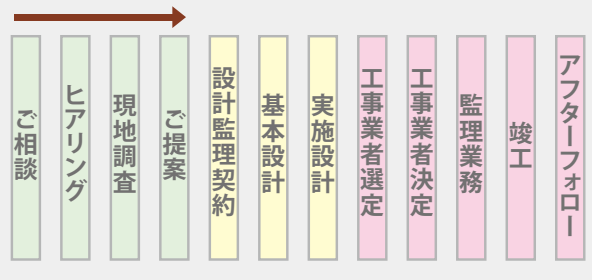
城取建築設計事務所のポリシー

建物を作ったという実績のみならず、仕事に対しての情熱や誠実さが評価されての実績だと、私たちは考えております。施主様の満足が続く建物を作り続けること。継続的なアフターフォローを通じて、責任を全うすること。一般建築物よりも建築基準が高い公共施設の設計技術を一般建築物にそのまま反映させる姿勢がお客様と施工者との信頼関係に繋がっていくのだと思います。妥協を許さない姿勢、費用面を含め、気軽に相談できる体制に親しみを感じていただければ、幸いです。

設計からアフターフォローまで責任を持って取組みます

事前打ち合わせ 設計業務 監理業務

費用は掛かりません



株式会社 城取建築設計事務所

- 創立：1963年4月1日
- 代表取締役：城取健太
- 資本金：1000万円
- 登録：(伊那) L第2Y051号
- 取引銀行：八十二銀行 伊那支店
アルプス中央信用金庫 本店
- 所属団体：(社) 長野県建築士事務所協会
(社) 長野県建築士会

■ 事業内容

- ・ 建築・構造・設備に関する企画・設計・監理
- ・ 医療福祉施設に関する企画・設計・監理
- ・ 商業施設に関する企画・設計・監理
- ・ 環境・地域計画に関する計画・設計・監理
- ・ 建物構造調査・診断・設計・監理
- ・ 既存建物の改修・リニューアル計画・設計・監理

■ 本社

長野県伊那市西町 5863-1
 TEL：0265-72-7271
 FAX：0265-72-7270

